

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 11 日

事業所名 放課後等デイサービス ぱびぷべぼ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		・死角が多いので細かな見回りをしています。	個室が多く、クローゼットなどに児童が入る可能性もあるので引き続き細かな見回りをしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	1		・スタッフの増員が必要だと思う。	今後、よりスムーズな支援ができるよう、また、適切な運営ができるようにスタッフの採用を積極的に行なっていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1		・外周はスロープ、室内はバリアフリーで事故がないよう配慮した空間になっている。	バリアフリー化はできているので、今は感染症対策として日々の消毒作業を実施していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・定期的にミーティングを持ちみんなて振り返りをしている。	引き続きミーティング等で振り返りの時間を設けて、スタッフみんなが意見を出しやすいような雰囲気づくりに励んでいきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			・アンケートによって出てきた課題はすぐに話し合い、早めに対処できるよう取り組んでいる。	保護者の意見を汲み取り、スタッフで共有して意思決定支援を大切にしていきたいと思えます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・ホームページにて公開し、便りで情報共有している。	ホームページに掲載後は、ブログやライン等でも掲載の周知をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		・外部の評価を確認し、ミーティングなどで共有後に改善に努めている。	第三者以外(他事業所など)からみた、事業所のイメージなども聞き取りながら、理想と現実のギャップを詰めていきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・資格取得や知識を身に付けるために積極的に参加している。	福祉に関する研修のみでなく、法律など幅広い分野の社員研修を受ける事ができています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・書類管理スタッフが定期的に研修へ参加し、スタッフの意見を踏まえて書類の見直しをし、児童、保護者のニーズがしっかり反映されているかチェックしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・その日によって、何をするのか活動内容をしっかりと決めてから取り組んでいる。	幅広いプログラムが組めるように、スタッフ間で意見を出し合い、利用者主体の支援ができるよう努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		・リーダー制度を導入して、活動内容が被らないようにしている。 ・コロナ禍で、活動内容に制限がかかっている。	・その日のリーダーによって制作の週、運動の週などと幅広いプログラムを組むことができているので、継続していきたいと思えます。 ・室内が好きな児童に対しても、たまには外での活動を促したりしていけたらと思えます。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝から利用の時は、イベントを多く取り入れるようにしている。</li> <li>職員で話し合い、計画を立てている。</li> </ul>	下校時間に合わせた支援プログラムの強化をすることで、より良い支援ができると思うのでスタッフで連携していきたいです。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>利用時のメンタルや体調に考慮して決めている。</li> </ul>	個別活動が必要な場合や、集団での活動が必要な場合があるので、個別での目標と社会性など集団活動での目標を設定している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>役割を決めて、児童が充実して過ごせるよう取り組んでいる。</li> </ul>	ラインなどでの情報共有もできているが、業務時間外の連絡もあるため業務時間内に共有し合っていけるように取り組んでいきたいです。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りを行い、反省点や気づきを次回に活かせるようにしている。</li> </ul>	ラインなどでの情報共有もできているが、業務時間外の連絡もあるため業務時間内に共有し合っていけるように取り組んでいきたいです。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフみんな確認しながら、個々の状態を記録している。</li> </ul>	自分自身が見てないことを、他のスタッフが見ていることも多々あると思うので、ミーティングの回数を増やして情報共有の時間をもっと多めに設けていきたいです。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフからあがる課題等を計画に取り入れて、見直しをおこなっている。</li> <li>こまめに計画相談員と情報共有して反映している。</li> </ul>	計画相談員と協力し、日頃の様子を細かく情報共有することでよりよいサービス計画ができると思うので、引き続き連携をしっかりと取っていききたいです。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、学校との連携を図りながら子供達が楽しく伸び伸び過ごせるように支援している。</li> <li>児童のニーズに合わせて提供できるようさまざまな活動を用意している。</li> </ul>	弊社として、基本活動の中でも特に「社会生活や経験の範囲が制限されないようにする」事に重点を置き、障がいのない子ども以上の体験に参加できるようなプログラム作りに励んでいます。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>普段から情報共有を行い、いつどのスタッフでも対応できるようにしている。</li> </ul>	スタッフによって、該当児童の態度が違ったりするので見え方も違う。より細かな情報を会議の中で提供できるよう、今後も管理者以外のスタッフも積極的に参加していきます。
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校からのお便りや年間スケジュールをいただき、調整している。</li> <li>送迎時のトラブル等も、先生方と連絡を取り合いながら素早く対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって、学校と事業所とのやりとりを禁止されていることもあるので、今後の課題だと思います。</li> <li>送迎時間や居残りなどの問題が起こった場合でもスムーズに対応できるようより密な連携をしていきたいです。</li> </ul>	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		現在、医療的ケアを必要とする児童の対応がない。	・今後医ケア児がいれば、主治医との連携は密に図っていききたい。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	1	・情報提供書を共有して支援にあたっている。	・管理者が把握していても、スタッフが把握できていない状況があるのでしっかりと事業所スタッフでの共有もこまめにしていきたいです。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	1	・必要時に依頼があれば情報提供している。	・管理者が把握していても、スタッフが把握できていない状況があるのでしっかりと事業所スタッフでの共有もこまめにしていきたいです。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	1	・コロナ禍という事があり、研修参加できていない。	専門機関との連携は大切なので、今後は研修会に参加するなどしてより密な連携を図っていききたいです。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	1	・コロナ禍という事があり、研修参加できていない。 ・交流したいが、コロナ禍で自由に交流する事ができない。	今年はコロナウイルスの影響でなかなか外部との関わりや接触がなかったので、感染症の状況をみながら増やしていきたいと思います。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	1	・協議会への参加は全くてできていない。 ・どう参加していいかわからない。	今年はコロナウイルスの影響でなかなか外部との関わりや接触がなかったので、感染症の状況をみながら増やしていきたいと思います。また、町内の自立支援協議会に関して役所に問い合わせ、干渉方法を確認したいと思います。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・連絡帳やメールなどで状況報告や状態報告しあっている。	送迎などの場面で保護者との情報交換はできているが、連絡が取れない保護者に対してのアプローチ方法を変えていく必要があると思いました。ラインなど時代に合わせた連携方法を考えていききたいと思っています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			・子育てサロンとして、親との勉強会を行なっている。	・保護者交流BBQや子育てサロンなど、交流の場はあるが感染症拡大の影響でできていません。ただ、今後はオンラインでの実施などを含めて開催方法を検討していききたいと思っています。	
	保護	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			重要事項説明書や契約書の読み合わせを行なっている。 ・わからないことは後日しっかり説明している。	引き続きしっかりと説明した上で、今後は保護者様にしっかりと伝わるように、言葉を選んで伝えていきたいです。
		31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			・メールや電話、ラインを活用していつでも連絡を取り合い助言できる環境がある。	来年度はコロナが落ち着いたら積極的に保護者交流や悩み相談会、子育てサロンを実施していきたい。万が一に備えて、zoomを活用したリモート勉強会、悩み相談会ができるように準備していきます。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	1		・親子サロンで保護者同士の意見を交換する場を提供している。	来年度はコロナが落ち着いたら積極的に保護者交流や悩み相談会、子育てサロンを実施していきたい。万が一に備えて、zoomを活用したリモート勉強会、悩み相談会ができるように準備していきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
若 者 へ の 課 外 活 動 等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・苦情があった際にはすぐにミーティングを開催して問題解決に努めている。	苦情があった際には事業所のみで解決するのではなく、しっかりと法人にも報告して改善に向けて法人全体で取り組んでいきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			・毎月、たよりの発行をしている。	・ブログ、タイムラインを通してしっかりと活動の様子を配信しています。 また、毎月のお便りを通して行事予定などを発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	4			・カルテ、記録等は鍵をかけて保管している。	個人情報記載された書類は鍵付きロッカーに保管し、破棄する場合はシュレッダーにかけています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・メールや絵などの視覚化でコミュニケーションを図っている。	手話やジェスチャー、イラストなどでも伝わるように資格取得などをして技術を習得していきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・コロナ禍でできていない。	コロナウイルスの影響で外部との接触ができなかったため、来年度は地域住民を招待し、地域に根付いた支援ができるよう取り組んでいきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			・ファイルにして、いつでもチェックできるようにしている。	スタッフは認知しているが、保護者の皆様にも周知する必要があるため、モニタリングの際に再度お伝えしたり、ブログに掲載するなどしていきたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・年に2回、避難訓練の実施をしている。	引き続き定期的実施し、万が一に備えておきたいです。 また、必要な防災グッズなどもしっかりと備えておくことも必要かと思えます。
非 常 時 態 の 対 応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・毎年開催される権利擁護、虐待防止の研修に参加している。	引き続き、研修への参加と研修受講後の事業所内共有の徹底をしていきたいと思えます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			・契約書に記載している。	児童の特性を事前に個別支援会議の中で把握し、保護者様へ対応を確認する。引き続き、利用開始時に個別支援会議を実施し、児童の特性を理解していきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			・見てわかるようにカルテの帯にシールを貼ってアレルギーのあることを周知して気をつけている。	定期的に児童のアレルギー情報などを確認し、おやつ提供時などにはしっかりと注意していきたいと思えます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・ひやっと思ったこと、ささいなことでも記録に残して全員で共有している。 ・事故や怪我がないように対応している。	事業所内でのヒヤリハットのみでなく、送迎時のヒヤリハット（危険な交差点、中路など）も共有していきます。